

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公表番号】特表2007-524749(P2007-524749A)

【公表日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2007-033

【出願番号】特願2007-500206(P2007-500206)

【国際特許分類】

C 0 9 B 5/62 (2006.01)

C 0 9 B 67/04 (2006.01)

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

C 0 9 C 3/08 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 B 5/62

C 0 9 B 67/04

C 0 9 B 67/20 F

C 0 9 C 3/08

C 0 9 D 11/00

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月12日(2008.2.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

透明で清浄な黄色を帯びた色合いを有する、顔料形態のペリレン - 3 , 4 , 9 , 10 - テトラカルボン酸 N , N - ビス - メチルイミドの製造プロセスであって、アルキル化剤によるペリレンテトラカルボン酸イミドのメチル化 ( 方法 2 ) により生成されるペリレン - 3 , 4 , 9 , 10 - テトラカルボン酸 N , N - ビス - メチルイミド及びペリレンテトラカルボン酸無水物とメチルアミンとの縮合 ( 方法 1 ) により生成されるペリレン - 3 , 4 , 9 , 10 - テトラカルボン酸 N , N - ビス - メチルイミドを含む混合物の、二量体化ロジンの存在下での微粉碎を含む、プロセス。

【請求項 2】

混合物が、35 ~ 90 重量部の、方法 1 で生成されるペリレン - 3 , 4 , 9 , 10 - テトラカルボン酸 N , N - ビス - メチルイミド及び 65 ~ 10 重量部の、方法 2 で生成されるペリレン - 3 , 4 , 9 , 10 - テトラカルボン酸 N , N - ビス - メチルイミド、並びに顔料混合物 1 重量部当たり 0 . 02 ~ 0 . 4 重量部の二量体化ロジンを含む、請求項 1 記載のプロセス。

【請求項 3】

アルキル化剤によるペリレンテトラカルボン酸イミドのメチル化 ( 方法 2 ) により生成されるペリレン - 3 , 4 , 9 , 10 - テトラカルボン酸 N , N - ビス - メチルイミド及

びペリレンテトラカルボン酸無水物とメチルアミンとの縮合（方法１）により生成されるペリレン - 3 , 4 , 9 , 10 - テトラカルボン酸 N , N - ビス - メチルイミドを含む混合物の、二量体化ロジンの存在下での微粉碎を含むプロセスにより生成される、透明で清浄な黄色を帯びた色合いを有するペリレン - 3 , 4 , 9 , 10 - テトラカルボン酸 N , N - ビス - メチルイミド顔料。

【請求項４】

高分子量有機物質を顔料着色する方法であって、高分子量有機物質に、顔料着色される高分子有機物質の重量に基づき 0 . 0 1 ~ 7 0 重量 % の請求項 3 記載のペリレン顔料を組み込むことを含む、方法。

【請求項５】

高分子量有機物質及び顔料着色される高分子有機物質の重量に基づき 0 . 0 1 ~ 7 0 重量 % の請求項 3 記載のペリレン顔料を含む、顔料着色組成物。

【請求項６】

マスターバッチ、コーティング、トナー又はインクジェット組成物である、請求項 5 記載の組成物。